

# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動中です。

## 第35回定例活動の報告・東の森

(10月4日 第一土曜日)

参加者 20名

・前日まで急に寒くなったり雨が降ったりの日だったが、この日はすがすがしい秋晴れの展開となり、気持ちの良い活動となった。

・この日の活動は、先月に引き続き、竹林の除伐作業、竹林近隣または竹林の中に植林されている杉檜の除伐、枯れ枝木の焼却処理、道作り班に分かれて作業を行った。

### 【竹林除伐】

・先月も除伐しており、倒した竹が横並びに整理されているのが確認できるが、それより、まだまだ切るべき竹の数のほうがぐんと多く、今日やっても終わらないだろうなあと容易に思えるほど。



・尾根に向かって山を見上げて竹林の地域が伸びており、残念な侵食の様子が目の前にせまっている。

・竹も木と同じように、受口、追い口を作っ倒していくのだが、そこまでは早い。しかし倒れる時から勝負。上部で生い茂る葉が邪魔をすすんわり倒れてくれないからだ。

・とはいえ、2回目の作業を終え、景色が広がり、作業前との景色の差がわかるようになった。

### 【除伐】

・除伐作業の面々も竹林に入り、竹林の中に入り、杉檜の除伐をしていった。

・本当ならここは杉檜の林だったはずだが、竹の勢いに負け、成長できないまま死んでしまった細い木や、曲り木だらけだった。さて、除伐。

竹林除伐の人もいる中で行うので声かけはいつもより慎重に。大声を出して倒す方向にいる人に逃げてもらう。〔下段へつづく〕

だが、せっかく逃げてもらったのに、竹の葉や、倒す木の枝が邪魔して全然倒れてくれない。

・ロープを使って一本一本処理をして行き、集中して行ったエリアは見事にいい意味でスカスカになった。

### 【道路整備班】

・竹林整備が始まると共に、その場所までの道づくりが始まった。施工業者はいつもながらの〇〇組。道路建設には「早くて、安くて、うまくて」と三拍子揃ったファーストフードのようなグループだ。そんな組だから会も重宝に使っている。おまけにノーテンキなのか、請求も一切してこない。ポランティアの鏡のようだ。近頃、本人たちは当会の道路族を自称しているらしい。ちよつと品のいい道路族だ。竹林の旧道までは基地から東に向かって、ほとんどの高低差もななく木々の間をカーブしながら約80メートル。二人で捨てられている間伐材を集め、樹木の根元に並べ、斜面の土を崩す。そうして踏み固める。あつという間に新道ができていく。隠れたところにも丁寧な仕事をする〇〇組ならではのものだ。午後から再スタート。草刈りを終えた孫請けシャチヨも加わり更に道路は延びる。一人増えると間伐材丸太を運ぶのも楽になり飛躍的に作業は進む。いつもながらの料理長と炊事班のオニイチャンが助っ人で参加。総勢5人。ポッカのオッサンは最後に登場。口だけの応援だがこれがさらに作業効率を高める。



〔下段へつづく〕

こういう非近代的な作業には人海戦術が一番効果的。振り返ってみれば獣道のようにたところに見事な作業道ができていく。「線路は続く、どこまでも」ではなく「道路は続くどこまでも」という感じだ。【火回り班】

火を扱うには、少し、草が伸び過ぎてる。

そこで、土木班員への依頼「ちよつとさ、(基地エリアの)草刈ってくんない?」と刈払い機登場。ここでも、ツーカーだ。

但し、土木班からお許し?の出た人員レインタルは、11時目安。まずは、火回りから刈り出す。刈払い機も唸りながら、パワー全開。でも、結構な高さにまで成長して



るんだ、草もね。手強いヤツだ。だんだん、地面の色も見えて来て作業もし易くなってきた。火傷に気をつけて、枯れ枝処分。地味な作業でも、これもまた無くてはならない作業のひとつ。この場を借りて、其々の力が、この会の原動力!

### 【少しだけ屋食班】

・「今日は、やけに材料の量が多いなあ。具ばっかりだな」まずいぞ、配分間違えた。「でも、いいじゃん、具沢山汁物でお腹一杯になるよ」とフォローの声も。この優しさに涙して、汁物にも塩分増量・・・ウソです、増えてません。切るだけ担当後は、火回り班から料理(屋食)班へヘッドハンティング。味付けは頼んだぞ。味見後談：美味しかったです。

文：ホムペーじより

# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページにて...

## 第36回定例活動の報告・中の森

(10月18日 第三土曜日)

参加者 21名

・朝から快晴、天高く馬肥ゆるの季節の到来。日中は暖かいが朝晩はめっきり涼しくなり過ごし易くなった。山仕事をするにも暑からず寒からずで最も活動に適した時期だといえる。いつもなら明日19日の第三日曜日が定例活動日であるが、今回は活動終了後に古希を過ぎた、あるいは近く迎える会の5人のお仲間の長寿を祝う会を一泊泊まりで開催するために一日繰り上げることに変更。飲んだ翌日の作業はつらいし安全にも問題があるという理屈から：

・今日は活動はボサ刈、山主さんから依頼を受けたお宅の裏手の2本のスギ？ヒノキ？の枝打ち、お隣さんから依頼された畑にそびえる高さ10mはあるうかと思われるキンモクセイの大木の手入れ、それからこのお宅の人工林の境界などの確認を行う。



### 【ボサ刈班】

・前回は午後から雨足が強くなったため作業を中断、尾根まで到達をの目標を達成できなかったが、今日、そのリベンジとなる。ただ、午前中のみの作業となるため、さあ、結果は馬力のTさんをリーダーに若手、初参加の人も加わってのチャレンジ。尾根に近づくとスギやヒノキの姿はなくアラカシやモミなどの大木などの自然木が目立つ。

〔下段へつづく〕

一部に見られるスギやヒノキもモミなどの大木に上空を覆われたりその枝に押されて細い幹が曲げられているなど価値ある木に育つのは絶望的、尾根まで到達の目標には一番右側のガレ場近くで活動していた仲間が達成。それを合図に

ボサ刈メンバー全員尾根まで上り上から森の様子を観察、今後どこまで整備を行なうべきかなどの意見交換を行い、観察をしながら山を下りた。

尚、ボサ刈が左側境界側に偏っているため次回からは右側にシフトして行なう予定。

### 【境界の確認】

・息子さんに案内してもらっておさん宅の山林の境界を確認を実施。前回蔓切りのために山へ入ったが、その境界がはつきりしなかったため在宅していた息子さんに案内をお願いし実現。



その結果からわかったことは奥域は浅く横に長いこと。目印は昔畑を作った時に積まれた石積み。但し、それだけでは作業を進める上で分かりにくいいため境界木に黄色のテープを巻いて目印とした。ここの整備は来年の春以降になるか...

### 【植栽手入れ班】

♪この木何の木？気になる木々なんてソノク、のフリースにあっただけ。こんなでっかいキンモクセイ、見たことないよ！キンモクセイって言ったら、人間の標準背丈位の高さしか思い浮かばない。

〔下段へつづく〕

けど、画像を見て、見て... すんごい高さでしょ？ すんごい大きさでしょ？ 聞けば、約40年もの間、手を加えなかったとか。そんな大きな木を相手に、気合も入る（木と気を掛けて）。



枝分かれしている部分も、手のこでは、こりや大変だ！と言う位の太さなんだもの。切り手も大奮闘でも、最後はチェーンソーで整えて... 地面から人の背丈ほど、空間が空いた。すっきりしたよ。

依頼は「切ってしまったて欲しい」だった。でもね、花も咲くし、勿体無いわって話も挙がって、手入れに入ったの。結果、持ち主の方も「きれいになった」と喜んでくれてよかった、よかった。また来年も、花を咲かせてね。

### 【火回り班】

・植栽手入れ班のその傍らで、柚子の枯れ枝を処分する火回り班。やっぱり、火の側は、熱いや。近づきすぎて、ジリジリという音がしたと思ったら、髪がああああ！... 焼けた。天気もよく、火も熱い... この季節にも汗が出た。枯れて、軽くなった柚子の枝でも、刺の威力は、衰えぬ。怪我のない様、慎重に、慎重に



少しずつの枝処分分だけど、積み重ねられていたの分量は確実に減ってる、減ってる。見栄えもすっきりしてきた。そして、今回手入れしたキンモクセイの枝を処分するのは、次回以降。まだまだ作業は続く。文... ホームページ



# ぼんぼり山便り

2007年9月から「緑の募金」から助成を受け、「緑の募金公募事業」として森林整備活動に取り組んでいます

<http://members2jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページにて・・・

## 【殿堂入り祝う会】

さてさて、殿堂入りの皆様を祝う会の始まり始まり。  
冒頭、殿堂入り対象者の名が特別席に案内されちゃった。そして、フ・レゼンターからお祝いの品が手渡された。中身は、今まで活動してきた中での勇姿のハ・ネル、写真集、みんなからの書き置き等。いいなあ、私も欲しいよ。↑何時になつたら殿堂入りの対象になるのか、単純に計算しても・・・ハア・・・祝ってもらおう頃には、100歳のお祝いが先になる！こりゃ、祝ってもらおう名目変更で、自分を対象にしなきゃダメだなあ。  
対象者の皆さんの印象はね、笑顔が素敵なんだな。でもって、ハ・ワーというか・・・見習わなきゃって感じる。一緒に活動できて、うれしいから、これからも、ずっと参加して下さるい！  
あのね、何でも、この祝う会、みんなでゆくり飲んで騒いで・・・の交流をするために・・・？丁度、喜寿の誕生日を迎えたメンバーをきっかけとし、集まっちゃえ！だったとかさうでなかつたか。ま、その辺は、ね、置いちゃって。普段、活動だけの参加のメンハ、一ともゆっくり話せたいし、楽しかった。  
来年の古希対象者は、どうやら居ないようだけど、でも、またみんなが集まりたいね。対象者として借り出された皆様、参加頂いた皆様、いろいろ御手配頂いた皆様、みんなみなお疲れ様でした。

文・・・ホームページより

